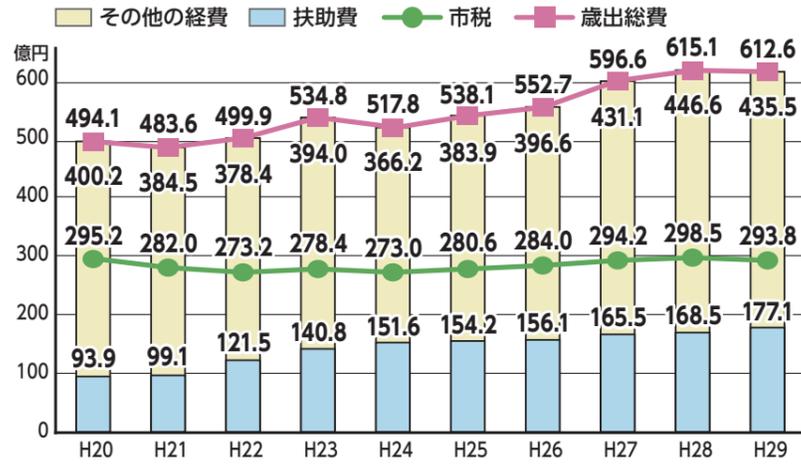


# 日野市の財政状況

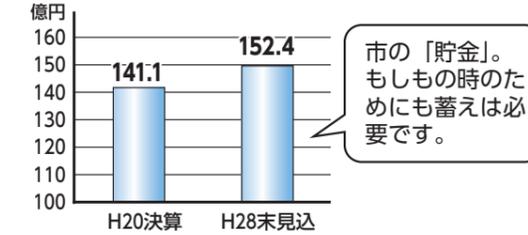
市税は横ばいで扶助費が継続的に増加していますが、借金(市債残高)を減らし貯金(基金残高)を増やし、持続可能な財政運営を行っています。

## ■一般会計 当初予算10年の推移



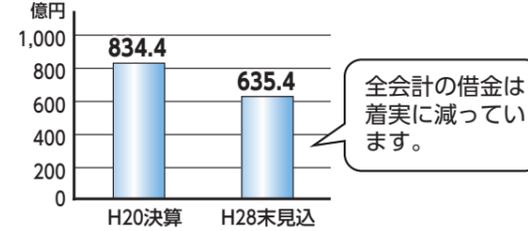
・歳出総額は100億円以上増加しており、主に高齢化の進展や子育て支援の充実などから扶助費(社会保障に要する経費)が増加

## ■基金残高(貯金)の推移(一般会計・特別会計合計)



市の「貯金」。もしもの時のためにも蓄えは必要です。

## ■市債残高(借金)の推移(一般会計・特別会計合計)



全会計の借金は着実に減っています。

## 市民1人当たり換算すると

1人当たり税負担 → 15万9,697円 (3,448円減) ※ ( )内は前年比増減  
1人当たり歳出額 → 33万2,962円 (3,245円減)

<b>民生費</b> 高齢者や障害者などに対する社会福祉、児童福祉や生活保護のための費用 16万4,934円 (5,080円増)	<b>衛生費</b> ごみ処理、保健衛生、予防接種、環境衛生などの費用 3万2,312円 (554円増)	<b>土木費</b> 道路の新設・維持管理や公園整備、市営住宅の維持管理などの費用 3万5,069円 (1,563円増)	<b>消防費</b> 消防活動、災害対策などの費用 1万2,176円 (1,318円減)	<b>貯金(基金残高)</b> 6万5,750円 (600円増)
<b>教育費</b> 小・中学校教育、社会教育、市民会館、公民館活動、スポーツ活動などの費用 3万6,179円 (7,141円減)	<b>総務費</b> 庁舎管理、徴税、統計、選挙事務や戸籍、住民登録などに必要な費用 2万8,856円 (2,376円減)	<b>公債費</b> 市債(市の借付たお金)の返済のための費用 1万5,282円 (259円増)	<b>その他</b> 市議会運営、労働、農業、商工振興などのための費用 8,153円 (135円増)	<b>借金(市債残高)</b> 17万2,591円 (3,789円増)

※歳出額は一般会計のもの  
※市民1人当たりの金額は平成29年4/1現在の人口183,985人(外国人を含む)で算出

# 平成29年度の主な取り組み

- I 参画と協働のまち 2億9,677万円**
  - 地域懇談会～アクションプランの中学校区を超えた共有と展開
  - 実践女子大学、明星大学との連携による地域活性化事業の推進
  - 障害者差別解消促進の取り組みと(仮称)障害者差別解消条例の制定に向けた検討
  - 窓口業務における民間委託の拡大 など
- II 子どもが輝くまち 13億3,657万円**
  - 保育所待機児童解消に向けた更なる取り組みや認証保育所等利用保護者の負担軽減の拡充
  - 生活困窮者世帯の子供に対する学習などの支援事業の拡充
  - 学習用校内LANと児童生徒用タブレットパソコンを全小中学校に整備
  - 中学校特別支援教室モデル校の全校拡大や七小・八小のトイレ改修工事など、教育環境の充実 など
- III 健やかでともに支えあうまち 1億832万円**
  - 多摩平の森A街区における認知症対策総合拠点の整備
  - 在宅医療と介護の連携体制の構築
  - 住み慣れた地域で生き看られる暮らし、福祉、医療の検討
  - データヘルス結果に基づく疾病予防、健康づくりの推進 など
- IV 日野人・日野文化を育てるまち 763万円**
  - 第3次図書館基本計画の策定
  - 中央図書館の耐震化実施設計の実施 など
- V 自然と調和した環境に優しいまち 7億4,224万円**
  - クリーンセンタープラスチック類資源化施設の建設
  - カワセミハウスを活用した諸力融合による環境保全とまちづくりの推進
  - 日野用水開削450周年啓発イベント、シンポジウム、特別展示の実施 など
- VI 安全で安心して暮らせるまち 4億2,292万円**
  - 本庁舎の免震化および長寿命化の推進
  - 防災マップ・洪水ハザードマップ作成、生活再建支援システム導入など自助・共助・公助による災害に強いまちづくりの推進
  - 滝合橋の耐震化、長寿命化工事の実施 など
- VII 地域の魅力を活かした活力あるまち 40億2,080万円**
  - まちづくりマスタープラン改訂に向けた取り組み
  - 空き住宅等対策計画の施策展開
  - 都市計画道路3・4・24号線、幹線市道I-20号線の築造など、重要な都市基盤の整備
  - 市民、商店、企業、大学などで構成される「商業まちづくりプラットフォーム」との連携、商業振興策や商業振興条例の検討
  - 第3次農業振興計画、アクションプランの推進
  - 日本の近代化を支えた絹産業遺産「桑ハウス」の魅力、価値の周知、保存、活用を検討
  - 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした「スポーツ、人づくり、おもてなし」の三つのレガシー創出を目指した取り組み など

## 日野市における地方消費税交付金(消費税引き上げ分)の使い道

平成29年度の地方消費税交付金の消費税率引き上げに伴う増分は、17億5,100万円になる見込みで、下記の通り全て社会保障施策に充てられます。

### ■日野市における地方消費税交付金(消費税率引き上げ分)の充当先

国による分類	社会保障施策の区分 日野市の予算による分類	事業経費	財源内訳			
			特定財源		一般財源	
			国都支出金	負担金など	地方消費税交付金(社会保障財源化分)	その他
社会福祉※1	社会福祉総務費、発達支援費、障害福祉費、老人福祉費※4、老人福祉施設費、児童運営費、ひとり親福祉費、保育園費、児童館費、放課後子ども育成費、生活保護経費など	230億9,438万円	134億4,442万円	10億5,744万円	9億6,988万円	76億2,264万円
社会保険※2	国民健康保険事業費、介護保険特別会計および後期高齢者医療特別会計繰出金	54億9,241万円	6億7,910万円	4万円	5億4,330万円	42億6,998万円
保健衛生※3	保健衛生総務費、予防費、健康管理費、病院費	24億7,178万円	2億6,165万円	1億322万円	2億3,782万円	18億6,909万円
合計 (平成29年度当初予算額612億6,000万円のうち)		310億5,857万円	143億8,517万円	11億6,070万円	17億5,100万円	137億6,171万円

(注) 金額は各欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため合計が合わない場合があります

- ※1 生活保護、児童福祉、母子福祉、高齢者福祉、障害福祉など
- ※2 国民健康保険、介護保険、年金など
- ※3 医療に係る施策、感染症その他の疾病の予防対策、健康増進対策など
- ※4 社会保険に係る介護保険特別会計および後期高齢者医療特別会計への繰出金を除く

## 平成28年度下半期財政状況

(平成29年3/31現在)

### ■市有財産

土地	170万㎡
建物	35万㎡
公共施設建設基金	15億7,123万円
職員退職手当基金	12億6,456万円
財政調整基金	42億5,200万円
環境緑化基金	5億642万円
平和事業基金	1億円
パリアフリー事業推進基金	1億668万円
土地区画整理事業基金	22億7,724万円
介護給付費準備基金	7億6,519万円
市民体育施設整備基金	6億5,628万円
学校施設整備基金	6億3,173万円
減債基金	3億2,720万円
新選組関連資料収集基金	2,141万円
ごみ処理施設整備基金	26億4,645万円
福祉あんしん基金	6,538万円
病院整備基金	5,240万円
合計	152億4,416万円

※金額は各欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります

### ■市債の状況

(単位: 億円)

会計名	27年度末残高	28年度借入金	28年度元金償還額	28年度末残高
一般会計	308.0	33.4	24.0	317.4
下水道事業特別会計	239.4	4.5	21.4	222.5
病院事業会計	73.3	0.7	5.3	68.7
土地区画整理事業特別会計	30.0	0	3.2	26.8
合計	650.7	38.6	53.9	635.4

※金額は各欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります  
※28年度末残高は見込額を含む

### ■平成28年度下半期各会計別予算執行状況

(単位: 億円)

会計名	予算現額	収入済額	支出済額
一般会計	663.8	615.2	588.1
国民健康保険	197.4	176.9	178.7
土地区画整理事業	42.5	32.9	5.8
下水道事業	48.5	41.3	42.9
介護保険	125.7	114.1	111.4
後期高齢者医療	37.9	37.5	37.7
市立病院事業(収入)	93.1	77.8	
市立病院事業(支出)	101.6		84.4

※金額は各欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります  
※一般会計および土地区画整理事業の予算現額には繰越明許費を含む